

講義コード	25468004	
担当者	加藤 雅俊 准教授	
研究題目	競争の戦略・政策に関する実証研究	
<p>概要 (必ずシラバスも参照してください)</p> <p>本演習では、産業における市場構造、企業行動（戦略）、パフォーマンス（成果）について、企業の経営戦略（競争戦略）あるいは政府の競争政策の観点から実証的に研究をしていきます。</p> <p>たとえば、『企業の経営戦略の観点』から、高いパフォーマンスを実現するために企業はどのような行動をとるべきかについて経済学的に分析します。より具体的には、イノベーション活動、広告・ブランド戦略、事業の多角化といった企業の行動（戦略）が、当該企業の利潤率、成長率、企業価値といったパフォーマンスを高めることに寄与しているのかについて計量分析の手法を用いて研究していきます。</p> <p>また、『政府の競争政策の観点』から、政府の競争促進政策（規制緩和など）が市場での成果（プライス・コスト・マージン、イノベーションなど）や行動（参入・退出、多角化、研究開発投資等）にどのような影響を与えるのかについて分析します。これらには、既存企業の分析だけでなく、潜在的な参入者（アントレプレナー）の戦略やそれを支援する政策も含まれます。したがって、アントレプレナーシップ（起業家精神）に興味のある学生の参加も歓迎します。</p> <p>上記の目的のために、まずは2年次に「産業組織論」「戦略の経済学」「競争政策」などの基礎を学んでいきます。その後、3年次以降グループ研究あるいは単独研究として自ら設定したテーマについて実証研究に取り組んでいきます。</p> <p>テキスト</p> <p>現在のところ、以下の2つのテキストを使用する予定にしています。(1)は企業の経営戦略に関する経済学のテキスト、(2)は政府の競争政策に関する経済学のテキストです。</p> <p>(1) 浅羽茂 (2004) 『経営戦略の経済学』, 日本評論社.</p> <p>(2) 小田切宏之 (2008) 『競争政策論』, 日本評論社.</p> <p>選考について</p> <ol style="list-style-type: none"> 必ず説明会に出席して、当演習内容について十分理解した上で応募すること。出席しない者の応募を受理しない。 氏名（漢字・ふりがな）、学生番号、志望動機、研究計画、および、これまでに読んだ経済・経営関連書のうち最も感銘を受けた本（1冊）の書評（1000字程度）、の5点についてMS WordあるいはPDFファイルで作成して、期限（別途指示）までに担当教員宛（mkato@kwansei.ac.jp）に送信してください。メール送信時の件名は、必ず「2014年度研究演習入門応募」としてください。 上記書類をもとに、応募者全員と面談（応募者数に依存するが、個別あるいは複数名同時）を実施。なお、ゼミ内容と応募者ニーズとのミスマッチを防ぐため、定員に満たない場合も面談を実施する予定。 <p>担当教員について</p> <p>詳しい研究内容などについては、個人ホームページを参照してください → http://www.m-kato.net/</p>		
受け入れ条件	ゼミ説明会出席、志望理由書の提出、面談への出席	
担当者のプロフィール	専攻	企業経済学、産業組織論
	現在の研究テーマ	アントレプレナーシップ、イノベーション、競争政策に関する実証研究
	所属学会	日本経済学会、日本経済政策学会、European Association for Research in Industrial Economics, Industrial Organization Society, International Joseph A. Schumpeter Society